

各 位

会社名 ダイヤ通商株式会社
 代表者名 代表取締役社長 北野 稔
 (JASDAQ・コード:7462)
 問合せ先 常務取締役 阿部 匡
 電話 03-5804-5081

平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異、
 通期業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

この度、当社において本日開示いたします「平成26年3月期 第2四半期決算短信(非連結)」の実績値と平成25年5月15日に公表しました業績予想について差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、今後の業績動向等を踏まえ、平成26年3月期通期業績予想の修正を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

尚、特別損失の発生もありましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異について

第2四半期(累計)(平成25年4月1日~平成25年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,823	5	△2	△2	△0.35
今回発表値(B)	2,997	△71	△78	△137	△18.14
増減額(B-A)	174	△76	△76	△135	
増減率(%)	6.2	—	—	—	
前期実績(平成25年3月期第2四半期)	3,004	46	31	20	2.74

2. 通期業績予想の修正について

(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	6,027	16	1	1	0.14
今回発表値(B)	5,779	△116	△131	△195	△25.76
増減額(B-A)	△248	△132	△132	△196	
増減率(%)	△4.1	—	—	—	
前期実績(平成25年3月期)	6,375	12	△14	△42	△5.57

3. 特別損失の発生及び内容

売掛金の滞留が発生し、その債権額の50%を貸倒引当金繰入額55百万円を計上いたしました。債権回収の為、法的措置を取るべく準備を致しております。

4. 業績予想の差異および修正の理由

当社の主力事業である石油事業に於いて、原油価格の上昇により仕入価格が高騰し、顧客の買い控えもあり厳しい状況でありました。

専門店事業においても、売上高は伸びたものの在庫の圧縮をすすめた結果、利益率が低下したため営業利益は大きく下回る結果となりました。

不動産事業は、大手テナントが撤退したこともあり、誘致活動を積極的に行いましたが、成約には至らず営業利益は大きく下回りました。

経常損失においては、営業損失の計上及び営業外損失の計上により78百万円となりました。

四半期純損失においては、上記に加えて記載の特別損失の計上により1億37百万円となりました。

これらを要因に、第2四半期の業績予想と実績値の差異をお知らせいたします。

今後の見通しにつきましては、石油事業においては不採算取引を縮小、不動産事業においては、自社ビルのテナント入居の遅れ及び入居率が未だ回復途上であることにより、売上高の減少が予想される為、依然厳しい状況になるものと見込まれます。

これらを要因に、通期の業績予想の修正をいたします。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上